

広島市報号外第 13 号

財 政 事 情

平成 2 8 年度上半期

広 島 市

公 告

平成 28 年 11 月 30 日

平成 27 年度の決算の状況と、平成 28 年度上半期の財政の状況を次のように公表します。

広島市長 松井 一實

目 次

I 平成 27 年度の決算の状況

- 1 財政規模の推移
- 2 財政の状況
 - (1) 市税収入
 - (2) 義務的経費
 - (3) 経常収支比率
- 3 市債残高と公債費負担の状況
 - (1) 市債残高
 - (2) 公債費負担の状況
- 4 財源調整基金の状況
- 5 決算資料（参考）
 - (1) 会計別総括表
 - (2) 一般会計<歳入>
 - ① 歳入の内訳
 - ② 市税の内訳
 - (3) 一般会計<歳出>
 - ① 歳出〔目的別〕の内訳
 - ② 歳出〔性質別〕の内訳
- 6 市民 1 人当たりの金額
- 7 企業会計の決算
- 8 健全化判断比率等について
 - (1) 健全化判断比率
 - (2) 資金不足比率

II 平成 28 年度の財政状況

- 1 予算の執行状況
 - (1) 一般会計
 - (2) 特別会計
- 2 市有財産の状況
- 3 市債及び一時借入金の状況
 - (1) 市債
 - (2) 一時借入金

I 平成 27 年度の決算の状況

1 財政規模の推移（図 1）

- ・ 平成 16 年度を基準（指数 100）に、広島市（一般会計）、地方財政全体（普通会計）、国（一般会計）の動きを比較すると、広島市は、国と比べ平成 18 年度から平成 20 年度にかけて国の値を上回っていたが、ここ数年は下回っている。また、地方財政全体と比べると、平成 18 年度以降、広島市の値が上回っている。
- ・ 平成 27 年度は、財政規模が 2 年連続の増加となった（対前年度プラス 2.5%）。
- ・ また、一般会計と市税収入との関係を見ると、平成 20 年度までは市税収入の伸びが一般会計の伸びを上回っていたが、平成 21 年度以降は一般会計の伸びが市税収入の伸びを上回っている。

2 財政の状況

(1) 市税収入（図 2）

- ・ 市税収入は、平成 20 年度まで 4 年連続で増加したが、平成 21 年度から減少に転じて以降は 4 年連続で減少した。
- ・ 平成 25 年度から再び増加に転じ、平成 27 年度は、個人市民税の増収などにより、対前年度プラス 0.8% の 2,059 億円となった。

(2) 義務的経費（図 2）

- ・ 市税収入の動向にかかわらず、歳出のうちその支出が義務付けられ、硬直性の高い義務的経費（人件費、扶助費及び公債費）は増加傾向にある。
- ・ 平成 27 年度は、義務的経費全体で 100 億円（対前年度プラス 3.4%）の増加となっている。
- ・ 義務的経費には、国庫補助金などの特定財源が充てられるものもあるため、市税収入と単純には比較できないが、両者の関係をみると、義務的経費の方が上回っており、平成 27 年度には 963 億円上回っている。

〔 ※ 扶助費とは、生活困窮者、高齢者、被爆者、障害者等に対して、その生活を維持するために支出される経費である。 〕

(3) 経常収支比率（表 1）

- ・ 経常的に支出される経費には、義務的経費以外にも、公共施設の管理運営費等の物件費などがある。
- ・ これらの経費も含め、財政構造の弾力性をみるための指標として使われる経常収支比率については、近年ほぼ横ばいになっており、平成 27 年度は 97.4% となっている。

図1 広島市一般会計・市税、地方財政及び国の決算規模の推移

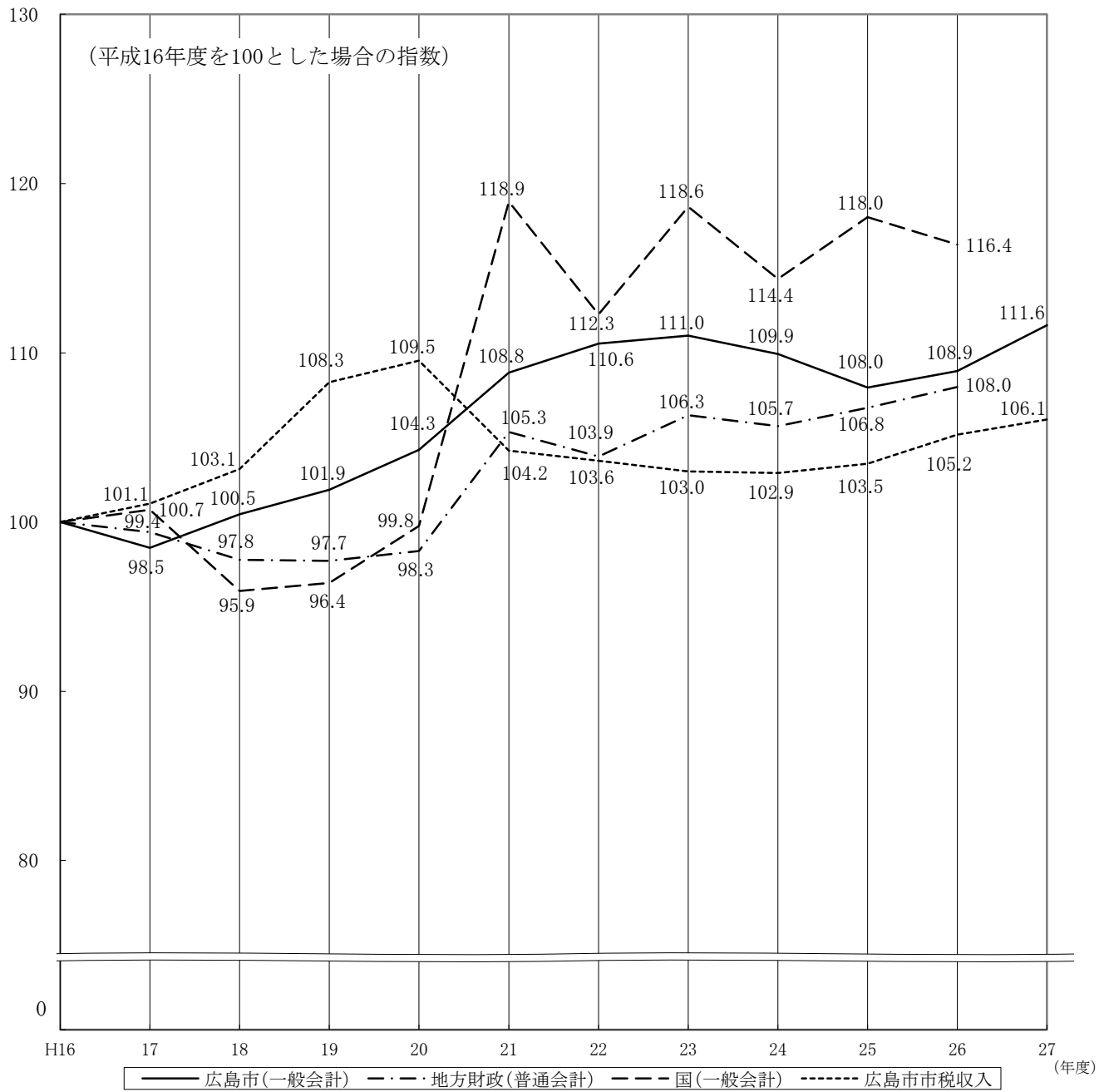
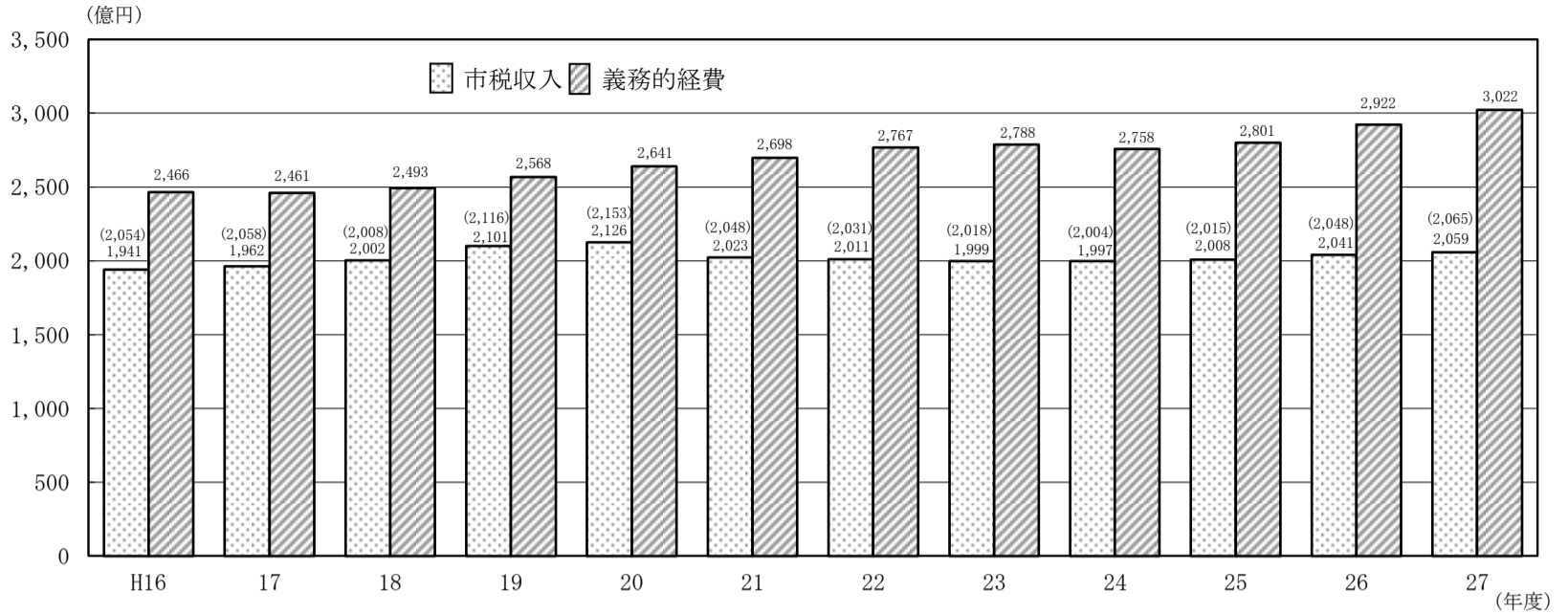


図2 市税収入と義務的経費（人件費、扶助費及び公債費）の推移（決算ベース）



(注1) ()内は、減税補填債及び地方特例交付金を含めた金額である。

(注2) 義務的経費には国庫補助金などの特定財源が充てられるものもあるため、市税と義務的経費の関係は単純には比較できない。

義務的経費の内訳

(単位：億円)

区分	H16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
人件費	832	849	858	899	873	875	867	847	827	798	835	848
扶助費	915	939	956	997	1,030	1,102	1,302	1,360	1,359	1,367	1,377	1,395
公債費	719	673	679	672	738	721	598	581	572	636	710	779
計	2,466	2,461	2,493	2,568	2,641	2,698	2,767	2,788	2,758	2,801	2,922	3,022

表1 経常収支比率の推移

(単位：%)

H16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
96.1	96.0	95.8	98.4	96.2	97.9	96.3	96.9	96.8	96.4	97.7	97.4
(104.5)	(102.0)	(101.0)	(102.7)	(100.1)	(106.3)	(107.6)	(109.3)	(109.8)	(110.7)	(111.5)	(109.0)

(注) ()内は、減税補填債及び臨時財政対策債を経常一般財源から除いて整理した経常収支比率である。

$$\left(\text{経常収支比率} = \frac{\text{人件費、扶助費、公債費、施設の管理運営費などの経常経費に充てる一般財源}}{\text{市税及び普通交付税など経常的に収入される一般財源}} \times 100 \right)$$

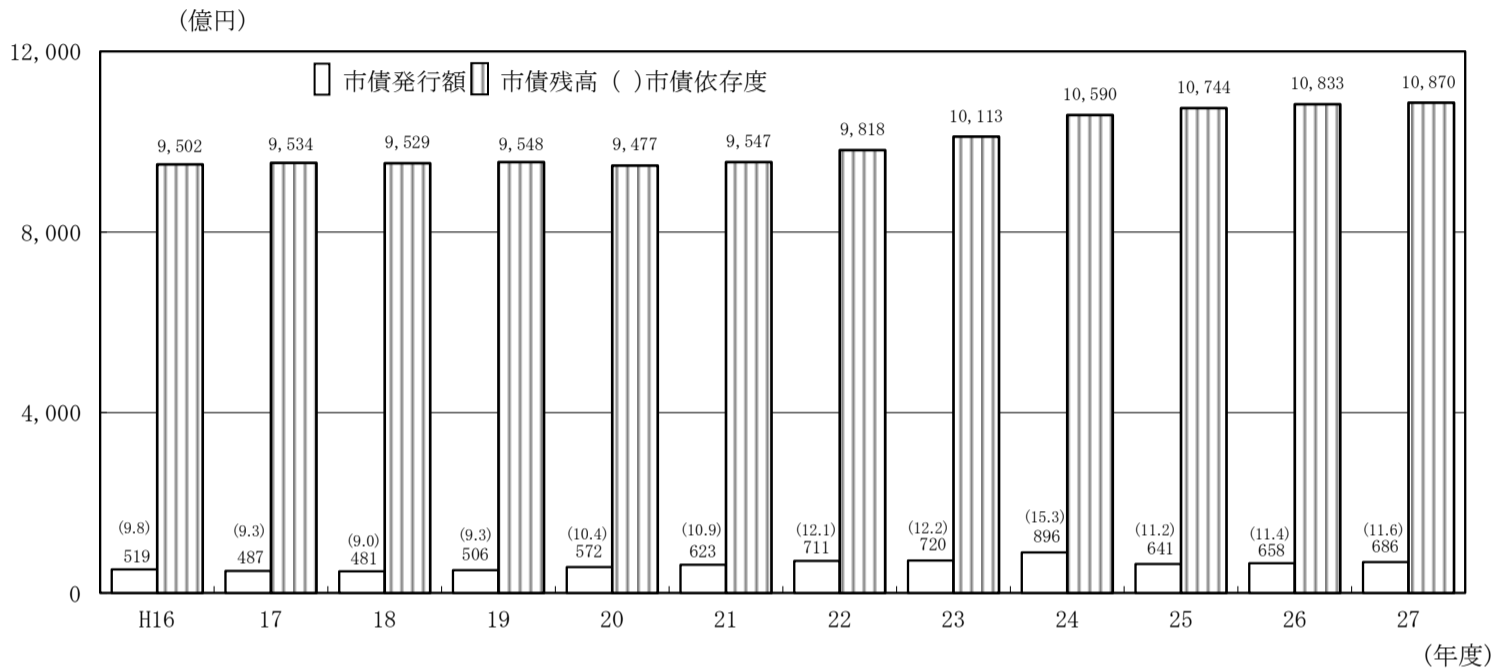
3 市債残高と公債費負担の状況

(1) 市債残高（図3）

市債については、これまで、道路交通網などの都市基盤整備や景気浮揚のための公共事業の拡大を行ってきたこと、また、近年は、臨時財政対策債の発行額が増加していることなどにより、残高が累積している。

本市では「第2次財政健全化計画」（計画期間：平成16～平成19年度）、「今後の財政運営方針」（計画期間：平成20～平成23年度）及び「財政運営方針（平成24年度～平成27年度）」に基づき、それぞれの期間において市債残高の抑制に努めてきたが、依然として高い水準にあるため、平成28年2月に策定した「財政運営方針（平成28年度～平成31年度）」においても、市債残高の抑制を目標の一つに掲げ、その抑制に努めることとしている。

図3 市債発行額、残高及び依存度の推移



(2) 公債費負担の状況

地方公共団体における公債費負担に係る指標として、従来は、市税等一般財源に占める公債費の割合を示す公債費比率や、地方交付税措置を考慮した実質的な数値を示す起債制限比率が用いられてきたが、平成18年度から地方債の発行が許可制から協議制に移行したことに伴い、地方債同意等基準の指標として、実質公債費比率が導入され、従来の起債制限比率では把握されていなかった公営企業債の償還財源に充てられる一般会計からの繰出金などが準元利償還額として実質的な公債費に含まれるなどの見直しが行われている。なお、協議制への移行後も、実質公債費比率が18%以上の地方公共団体は、地方債の発行に当たって総務大臣の許可が必要となり、平成24年度の届出制導入後も同様である。

本市の平成27年度決算における実質公債費比率は15.0%と、許可が必要となる基準である18%を下回っており（表2）、平成28年度は平成27年度に引き続き総務大臣へ届出を行う（公的資金を充当するものを除く）ことで地方債の発行ができることになった（平成19年度までは総務大臣の許可が必要であった。）。

表2 実質公債費比率の推移

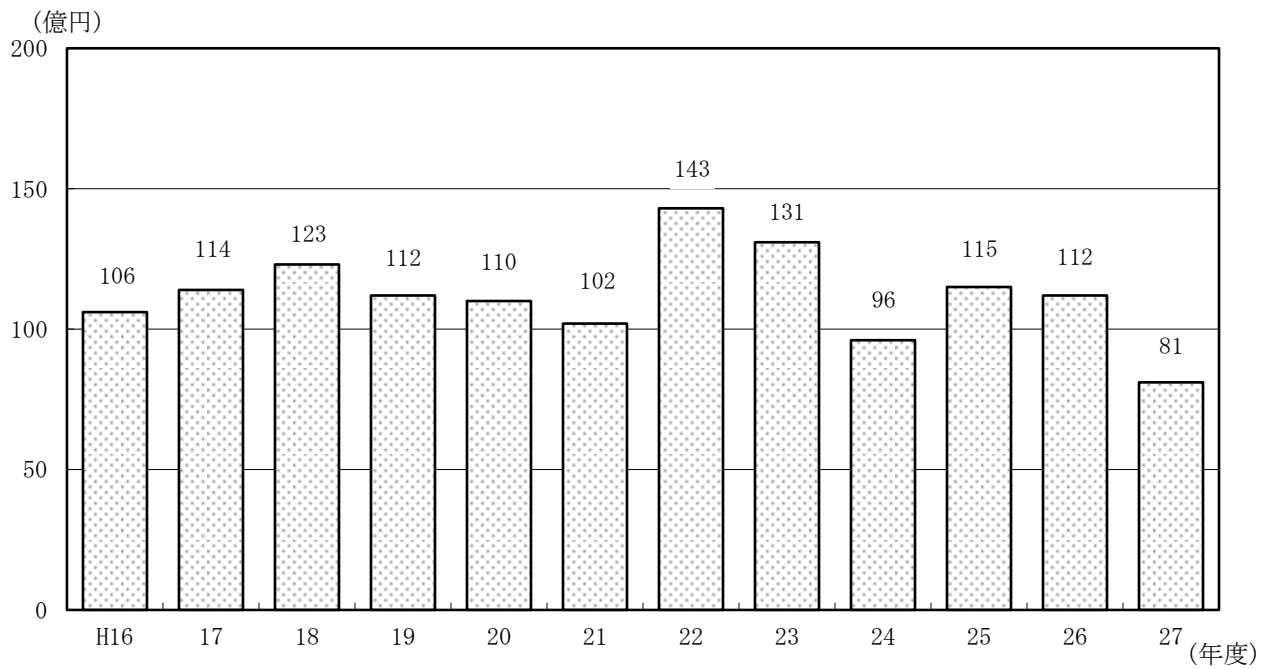
(単位：%)

区分	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
実質公債費比率	20.9	16.1	15.6	15.7	15.6	16.0	15.9	15.6	15.4	15.0

4 財源調整基金の状況（図4）

- 基金とは、特定の目的のために資金を積み立てたもので、将来の大幅な税収減や災害の発生等の不測の事態に対応するための「財政調整基金」などがある。
- 財政の健全化に向けた取組を行う中で、財政調整基金の残高の確保に取り組んでおり、平成27年度末の基金残高は81億円となっている。

図4 財政調整基金の年度末残高の推移



5 決算資料（参考）

(1) 会計別総括表

会 計 名	歳 入 A	歳 出 B	差 引 (形式収支) (A - B) C	翌年度繰越分 充当財源 D	実 質 収 支 (C - D)
	億 万 千円	億 万 千円	億 万 千円	億 万 千円	億 万 千円
一 般 会 計	592592280	586802746	5789534	3387089	2402445
特 別 会 計	430401934	428251357	2150577	37493	2113084
住宅資金貸付	11247	11247			
母子父子寡婦 福祉資金貸付	724777	544430	180347		180347
物 品 調 達	62888	44220	18668		18668
公 債 管 理	154185240	154185240			
広島市民球場	911515	911515			
用地先行取得	10916	10916			
西 風 新 都	938251	938251			
後期高齢者医療	12002063	11714173	287890		287890
介 護 保 険	85021713	84156550	865163		865163
国民健康保険	145650327	145650327			
競 輪	12752077	12009634	742443		742443
中央卸売市場	3496652	3487152	9500	9500	
国 民 宿 舎 湯来ロッジ等	65856	65856			
駐 車 場	613823	585830	27993	27993	
開 発	7147754	7147754			
市立病院機構 資金貸付	6787200	6787200			
元宇品町財産区	1051	651	400		400
三入財産区	7382	209	7173		7173
砂谷財産区	11202	202	11000		11000
合 計	1022994214	1015054103	7940111	3424582	4515529